

高等部3年 国語教材一(難)

次の文の( )に漢字一文字を入れて慣用句、ことわざを完成させなさい。

- 1 ( ) いては事を仕損じる (あまりあせってやるとうまくいかないものだ)
- 2 住めば( ) (どんな所でも長く住むと居心地がよく離れがたくなるものだ)
- 3 ( ) 百まで踊り忘れず (幼いころからの習慣は年をとっても抜けないものだ)
- 4 人事を尽くして( ) 命を待つ (事の成否は人知を超えたことで、結果がどう出ても悔いはない)
- 5 触らぬ( ) にたたりなし (関りを持ちさえしなければ災いを受けることはない)
- 6 転ばぬ先の( ) (失敗しないようにあらかじめ準備をしておくべきだ)
- 7 怪我の功( ) (失敗などが意外なよい結果をもたらすものだ)
- 8 ( ) 子危うきに近寄らず (教養のある人は自らの行動を慎むものだ)
- 9 木を見て( ) を見ず (細部にとらわれて全体を見失う)
- 10 ( ) 報は寝て待て (あせらずに運が来るのを待つのがよい)
- 11 思い立ったが( ) 日 (物事を思い立ったらすぐやるのがよい)
- 12 ( ) ある鷹は爪を隠す (本当に実力のある人はそれを見せびらかさない)

- 13 他山の（ ） （他人の失敗でもわが身の才能や人格を磨くのに役立つものだ）
- 14 （ ）のつるに茄子はならぬ （平凡な親から非凡な子は生まれない）
- 15 （ ）より育ち （血筋より環境の方が人間を作るうえで影響が大きい）
- 16 言わぬが（ ） （余計なことは言わないほうがよい）
- 17 井の中の（ ）大海を知らず （知識や見聞が狭い）
- 18 （ ）が西向きゃ尾は東 （当たり前すぎる）
- 19 （ ）ずるより産むが易し （やってみると意外とうまくいくものだ）
- 20 浅い（ ）も深く渡れ （ささいなことでも油断するな）
- 21 （ ）の知らせ （何となく感じる予感）
- 22 （ ）をさす （順調に進んでいる物事に邪魔をいれる）
- 23 （ ）脚を露わす （隠していた悪事があらわになる）
- 24 二の（ ）が継げない （あきれて何もいえなくなる）
- 25 伝家の宝（ ）（いざという時にだけ使うとっておきの手段）
- 26 月（ ）み （平凡なこと）
- 27 しのぎを（ ）る （激しく争う）

- 28 ( ) を刺す (後で問題が起こらないように厳しく念を押す)
- 29 ( ) 古鳥が鳴く (店が繁盛せずものさびしい様子)
- 30 甘い ( ) を吸う (苦勞せずに利益を得る)
- 31 ( ) を売る (仕事の途中で無駄話をしてなまける)
- 32 後ろ ( ) を指される (陰で他人から非難される)
- 33 ( ) にも物見せる (ひどいことをして思い知らせる)
- 34 身を ( ) にする (苦勞をいとわず力を尽くす)
- 35 齒 ( ) にもかけぬ (無視して問題にしない)
- 36 齒に ( ) 着せぬ (ずけずけとものをいう)
- 37 肝に ( ) じる (心に深く刻みつけて忘れない)
- 38 ( ) らず口をたたく (負け惜しみから勝手なことをいう)
- 39 後ろ ( ) を引かれる (未練が残る)
- 40 ( ) が広い (交際範囲が広い)